

前期

名作能面展

The first half period : MASTERPIECES OF NOH MASKS

2021
3/2(火) - 8/1(日)
Tue, Mar 2nd Sun, Aug 1st

田楽・散楽・筑前楽など、種々の要素が影響しあって、完成されたのが能楽です。その中で物語や登場人物そのものを表現する面(おもて)が形成されていきます。能面が類別的に一応の形として定着するのは安土桃山時代であり、能が武家式楽となった江戸時代からは四座一流(観世・宝生・金春・金剛・喜多)それぞれの表現に合わせて本面(ほんめん)が定められました。能楽において曲全体を左右する程の位置づけをもつ能面は、つねにその時代に生きた人々の喜怒哀楽や恐れ、おののき、そして祈りの心を秘めて現代まで伝えられています。本展「名作能面展」では、中世から近世までに打たれた能面の中より、五十面を厳選し展示いたします。



能面 般若
河内井筒大徳家重 作



能面 小面
水鏡一造斎古成 作



能面 中村
大和太田真成 作



能面 観世
宮田俊俊 作

作品写真 宮原正行

2021
9/1(水) - 12/19(日)
Wed, Sep 1st Sun, Dec 19th

能が伝統的なすぐれた舞台芸術として発展してきたのは、先人たちの努力によるものです。その継承の足跡は、実際に演能を鑑賞する以外にも、さまざまなかたちで歴史のなかに見出すことができます。

しかしいまもっとも身近な方法は、伝え遺された面・装束・楽器をはじめとする能楽関係品のひとつずつを前にして、これらにたずさわった人々の芸道と技に思いをめぐらせ、目にもあでやかな美しさや細やかな心くばりを感じとめ、それらを通じ、中世から続く日本文化の精華をうかがい知ることです。中世の美的理念「幽玄」はほのかな余情の美です。

「幽玄の美」展に展示される能楽美術から、日本の深き趣きや優雅さを感じ取っていただければと思います。

特別
割引券

5名様まで100円引き
本展会期中有効

後期

幽玄の美展

The second half period : SUBTLE AND PROFOUND BEAUTY



能面 大徳山
井筒次郎左衛門親政 作



符標刺舟輪大鼓物



金地瑞鳥御園文附織